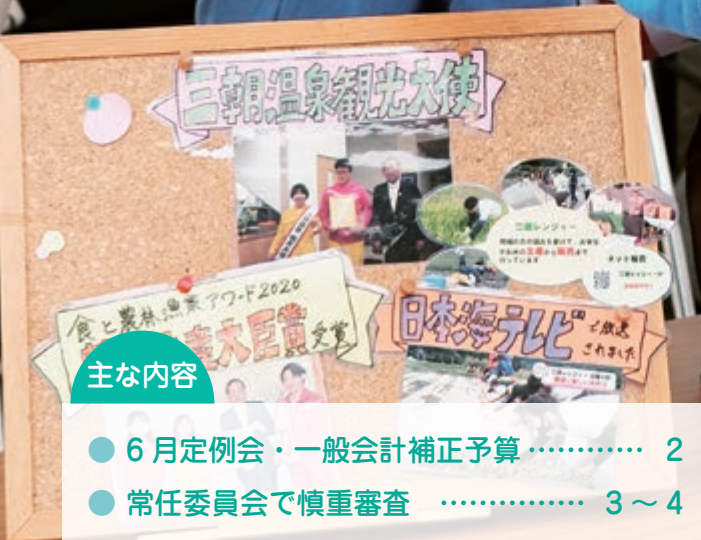


こんにちは

みささ議会です

令和4(2022)年

7月号



主な内容

- 6月定例会・一般会計補正予算…………… 2
- 常任委員会で慎重審査…………… 3～4
- 議員5人が一般質問……………5～10
- 議案の賛否……………11
- 大好きみささ町……………12

とっとり日本遺産フォーラムでの 特産品販売

(三朝町総合文化ホール)

6月 定例会

一般会計補正

(9,625万7千円を追加し、予算総額は
68億3,802万9千円となりました。)

6月定例会（6月9日～17日）は、町長から提出された議案など8議案を
審議し、原案通り可決しました。

主な補正予算の概要は次のとおりです。

主なもの

◇コミュニティ助成事業（団員資機材拡充事業）

119万9千円

消防団員の装備強化のためトランシーバー50台を整備する。



◇子育て世代生活支援特別給付金 450万円

コロナ禍における支援措置として、低所得の子育て世帯に
児童一人あたり5万円を給付する。

◇町道整備事業 1,550万円

町道片柴線道路改修工事の早期完成を図る。

◇新型コロナウイルスワクチン接種事業

714万4千円

新型コロナウイルスワクチンの追加接種（4回目）を行う。



◇地籍調査事業費 2,673万円

補助金の配分増により、事業の進捗を図る。

◇住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金

2,000万円

令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯に、10万円を
給付する。

◇コミュニティ助成事業 180万円

みささ村公民館にweb会議システムを設置する。



常任委員会で慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

消防団資機材拡充事業

問 火災が続いているが、田代林野火災では、ホースの穴あきが見受けられた。ホースの点検を各班に伝達してはどうか。

答 ホースも含めた消火活動に係る資機材の点検について、改めて徹底して行うよう伝達する。

問 消防団員の装備強化のため、トランシーバー 50台を整備するということだが、どのように配備するのか。

答 配備先は、分団長、副分団長に各1台(26台)、機動班に各2台(12隊)計50台を予定している。

問 消防ホース乾燥塔に吊り上げられた消防ホースが強風に煽られる事が二度と起こらないよう、管理をもっと徹底してほしい。

答 固定用バンドの配備について、各団員への情報伝達が不十分な地区団があった。団長より、改めて資機材の管理方法について注意喚起を行い、再発防止の徹底を図っていただく。

問 町の操法大会を、なぜ5月にしたのか。町民からも苦情が入っていると思う。その経緯を教えてください。

答 地区団長会で協議を進めて決定された。田植えの人手不足と、地域からのご意見は寄せられたが、ご理解をいただいたうえで実施したとのこと。

学校給食材料の高騰による影響

問 給食の材料の値上げをメニューを工夫して金額を抑えていると言うが、食材を変えることで、美味しくないと食べない、残食が増えたということは無いのか。給食費が値上げした場合の値上げ分は、保護者に負担をかけないように、他町村と同じように三朝町も町が負担することを検討してはどうか。

答 残食は増えていない。7月に入札があり、値段が上がるようなら、公費負担について検討していく。



学校給食の様子

学校視察を行いました！

児童生徒1人1台のタブレット端末が整備されたことを受け、小学校でのタブレットを用いた授業を見学しました。5年生では、慣れた手つきでタブレットを操作していて、子どもたちのデジタル機器への順応能力の高さには感心しました。

また、中学校においては、学校給食の試食をしました。地産地消の食材を活用し、メニューに工夫を凝らしておられることを感じました。



学校給食の試食



タブレット授業の見学

産業民生常任委員会

米価下落助成金の支給状況は

問 米価下落による町の助成金事業の支給状況はどうか。

答 現在、概ね8割から9割の農家に支給ができています。申請がまだの方に対しては、再度、通知をしていく予定。

子育て世帯生活支援特別給付金事業補助金

問 対象世帯と交付時期はいつ頃になるのか。

答 児童手当、特別児童扶養手当の受給世帯のうち住民税均等割非課税世帯に対して交付するもので、予算が承認され次第できるだけ早く交付したい。

三徳山遥拝所周辺の管理

問 新しい遥拝所の整備が県で計画されているが、その場所周辺の草刈りができていないと聞くが管理はどこがするのか。

答 県での整備は今年度で完了予定だが、案内や草刈り等は町で対応していきたいと考えている。



三徳山遥拝所計画用地

ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の活用

問 スマートフォンで手軽にごみの分別方法の検索や収集日の確認ができるとのことだが、高齢者の中には使えない人も多いのではないかと。

答 紙媒体として、以前から収集日とか分別の冊子も配布しており、今後は紙媒体とアプリを併用して運用していくので、使いやすい方を活用していただきたい。



ごみ分別アプリ「さんあ〜る」

景観形成策定事業で何をを目指す

問 以前、全町公園化計画というものがあったと思うが、これとどう違うのか。

答 以前の計画は、地域の良いところを見つけて地域活性化を図っていこうというものだった。景観形成策定事業では、町内の優れた景観の保全と機運の醸成、景観を観光資源として作り上げていくため、景観条例の制定の後、景観計画を策定していきたいと考えている。

企業版ふるさと納税の取り組み

問 国からの認定を受けないとできないのか。収入はどれくらいを見込んでいるのか。

答 内閣府の認定を受ける必要があるため、今回の補正で計画策定等の経費をあげている。収入は100万円程度を見込んでいるが、認定後に補正計上していきたい。

昨年7月豪雨災害の復旧状況は

問 農地、農業用施設では、発注業者は決まっているようだが、工期が12月までなどとなっており、工期をもっと短くできないのか。

答 各業者が受け持つ数が多いため、工期を短くしても町の思い通りに進まない現状である。できるだけ早めに対応できるように努めていきたい。

コミュニティ助成事業の内容は

問 web会議システムをみささ村地域協議会に導入することだが、どのような場合に使用するのか、また他の地域協議会への設置は考えていないのか。

答 リモートでのやり取りが行政機関だけでなく民間同士でも増えていることから様々な場面で活用できると考えている。また、要望があれば他の地域協議会への貸出しも可能であり、使用状況を見ながら今後の設置は検討していきたい。

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

一般質問

あなたの声を 町政に

5人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
6	1. 町民の命を守るための危機管理	石田 恭二
7	1. コミュニティ・スクール発足と「三朝町子育て12か条」について	山口 博
8	1. 健康増進について 2. コミュニティ・スクールについて	河村 明浩
9	1. 安心して子育てができる町に	吉村美穂子
10	1. 三朝町の特産品振興事業について 2. 本町の特色ある職場環境づくりについて	松原 成利

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。
(10:00～、18:00～)

防 災

問 災害を常に意識し生活豊かな町を

答 地域で助け合う地域防災も必要

町民の命を守るための危機管理

石田

防災減災も、過去・未来の災害という枠組みに捕らわれることなく、自然災害を常に意識しつつ、今を豊かに生活できることが必要では。

町長

自助・共助・公助、住民が自らの命は自ら守っていただくこと、地域で助け合う地域防災も必要になってきていると思っている。行政はそれを全力で支援していく。常に命を守る為の危険管理を進めていきたいと思う。

昨年の集中豪雨

石田

河川の氾濫や土砂災害・道路冠水など深刻な被害が生じた。繰り返し町民の生活を脅かされている状況で、対症療法だけでなく水系流域全体での治水対策など抜本的な対策が必要では。

町長

天神川流域の減災対策協議会で流域治水対策を強化する議論が深まっている。氾濫をできるだけ防ぎ、減らす対策、被害対象を減少軽減するための対策、早期復旧、復興できる対策をハードだけでなくソフト一体的にする協議を進めている。

石田

復旧状況、災害現場の状況は。

町長

概ね予定通り対応は進めて、工事の発注だとか、地元への対応、負担の軽減等を進めている。

石田

大瀬地区、役場駐車場が冠水したが、原因究明なり対応策は。

町長

天神川に排水する場所の流末の排水処理が必要になっていると県とお互いに認識している。

大瀬地区は、内水面对策ができていなかったことが課題であって、今後住民とお互いに課題を持ちながら進めていくことが必要であると思っている。

石田

三朝橋・恋谷橋は、毎回河川の増水時は越水限界まできている、早期の対策が必要では。

町長

三朝地域も内水面对策で、課題提起は地域の中でさせていただいているが、コロナ等で遅れている。河川管理者等については、常にこういった手立ができるか準備を進めているし、護岸整備における諸問題を整理しながら、今年度は地域と課題を共有しながら懇談的なことを進めていきたいと思う。

避難訓練

石田

現在、災害時・平時でも空路による避難者・重度重傷者の搬送運用が主流となっており、それらを含めた訓練等が必要では。



石田 恭二 議員

町長

本町のような立地条件の町では大規模災害を想定した訓練では空路搬送運用も非常に大事だと思っている。県・中部消防局と連携を取組んでいく必要があると思っている。

石田

町民を守る為の避難訓練は当たり前に実施すべきだが、観光客を守る避難計画も必要では。

町長

主体的に協議をした記憶はない。旅館さんとの協定も締結したところなので、改めて避難体制も含めて、旅館さん同士の避難の在り方というのもある必要がかなと思うので、実行していきたいと思う。



南苑寺の災害状況（三朝）

教育

問 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を分かり易く

答 町民に向けてきめ細やかな説明をやっていく

コミュニティ・スクールはこれまでと何が違うのか町民に説明を

山口

コミュニティ・スクールを始めることで今までと何が違うのか町民に説明が必要だ。

教育長

これから決める部分もあるので町民に対してきめ細やかな説明をやっていかなければならないと思っている。

学校運営協議会の意見等はその様に反映されるのか

山口

学校運営協議会は、学校運営や教員人事にまで意見を述べるができることになるが教育委員会との関係は。

教育長

運営協議会で話された教員人事に関する意見については町の教育委員会を通して県教育委員会に届けることになるかと理解している。



山口 博 議員



広報みささ2月号「コミュニティ・スクール」

教育

問 三朝町子育て12か条カードの有効活用を

答 カードを通して子育てに関心を強めていただきたい

配布のカードが飾りものにならない工夫を

山口

子育て12か条のカードが家庭での実践につながるような取り組みやフォローを期待している。

教育長

子育て12か条に関するポスター等の配布を考えており、カードを通して子育ての振り返りや関心を強めていただければ幸いである。

カードの文言はTADAさんに任せているのか

山口

カードの文言と子育て12か条の文言が一致していないように感じるが、カードの文言はTADAさんに任せているのか。

教育長

子育て12か条の文言からTADAさんが感じられたことをカードの文言にしてもらっている。

子育て・親育て教育の充実が必要

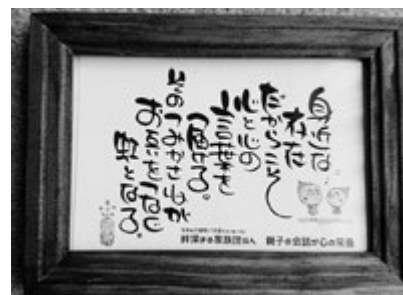
山口

町には相談センター・支援センターはあるが、教育の視点で見るとき、現在の三朝町では子育て親育て教育が少ないように感じる。

また「みささ子育てスタイル」の冊子も改訂が必要では。

教育長

各課バラバラのように見える子育て・親育ての諸施策も庁舎内各課で連携をとって進めている。



「子育て12か条」の額

「みささ子育てスタイル」は現在ホームページ上で随時更新されており、冊子化よりICTを活用いただきたい。

家庭教育支援条例（仮称）の制定を検討しては

山口

家庭教育が教育の原点であり、家庭の教育力を取り戻すことを主要課題として、子育て12か条からさらに踏み込んで家庭教育支援条例（仮称）の制定を検討しては。

教育長

現在のところ、各種の教育、支援策が機能しており、家庭教育支援条例の制定は考えていない。

健康

問 一人一人の「健康増進」に対する意識を高めるためには

答 町民に分かりやすく、より健康に関心を持つ予防・啓発を進める



河村 明浩 議員



昭和61年発行「健康管理12ヵ月」

健康とは、身体的、精神的、社会的の三位が一体

河村

健康寿命を伸ばすため、三朝町子育て12か条のような三朝町健康増進数か条を作成してみてもは。

町長

これまで健康標語・健康管理冊子・健康日誌で啓発してきた。以前、岡山大学三朝分院長が町内放送で放送された内容を「健康管理12ヵ月」として発行している。

河村

その冊子を改めて公表してほしい。

町長

町民の目に留まるような形で、図書館でも見ていただければと思う。

教育

問 コミュニティ・スクールで、地域と学校との協働活動とは

答 ①社会に開かれた教育課程の実現
②必要な資質・能力の育成
③未知の状況に対応できる思考力、判断力、表現力の育成

学校づくりと地域づくりの相乗効果を

河村

子どもたちにとってのメリットは。

教育長

いかなる危機にあっても、安心・安全な地域社会で多くの町民に生まれ、健やかに成長することができること。

河村

ふるさと三朝に誇りが持てるよう、生涯にわたって愛してくれることを望んでいる。



タブレットを使ったふるさと学習

教育

問 家庭教育支援の取り組みは

答 情報発信と適切な機関に繋ぐ

本町における家庭教育支援の取り組み

吉村

家庭教育力の低下と孤立する保護者への支援と取り組みは。

町長

家庭での教育力や対応力向上に向けた助言、支援体制を講じる事は喫緊の課題と認識している。切れ目のない子育ての情報提供に努める。

教育長

町、中部、県、民間団体では多種多様な家庭教育支援の取り組みが整えられ、相談に来られた方に対して適切な機関に繋ぎ、助言、支援に努めている。

吉村

家庭教育に関心の低い保護者には、出向いて支援するアウトリーチ型支援は、問題の未然防止、早期発見に繋がるのでは。

教育長

アウトリーチ型支援は考えていない。子どもに関わる皆さんで見守り、話しを聞き、適した窓口やセンターを紹介し手助けをしている。

吉村

家庭教育支援員のボランティアを募り、学びながらの支援グループを作っては。

町長

専門的に各分野で活動する皆さんと連携し支援していく取り組みも必要と考える。



吉村美穂子 議員

子育てに関わる窓口を一元化しては

吉村

子どもに関わる町民課、健康福祉課、教育総務課、社会教育課を1つの窓口にする事で住民にわかりやすく、子どもの成長を切れ目なく把握し、対応できるのでは。

町長

1つの課で全てをカバーする事は難しく、同じフロアでほぼワンストップで、どの窓口でも対応を可能としている。各課が連携協力に努めている。



「あったかみささでこそだて」子育て応援ポータルサイト



みささ子育てスタイル

農業

問 三朝町の特産品振興事業の状況は

答 検証を深めながら取組みを進めたい

特産品振興事業の状況把握や対応は

松原

生産者と出荷先だけでなく行政も課題や市場動向に注意し、新商品開発やPR活動にも支援体制整備すべき。

町長

JA・町・普及所の構成チームで技術指導に取組んでおり、消費者ニーズに合う商品化の取組みも常に必要と考える。



地大豆「三朝神倉」の種まき作業

「三朝神倉」大豆の買取り調整は

松原

順調な大粒に対し、低級品は買取り調整の噂があるが対応策は。

町長

出荷先JAには前々から新商品開発の必要性和加工試験には幾分か支援の意向や、販路拡大には「ふるさと納税」他、色々な提案をしている。少し消極的な面があり機会毎に話してみたい。



松原 成利 議員

ブロッコリーの就労体制や集荷は

松原

試験栽培のブロッコリーは、出荷時期の就労体制の厳しさや集荷取り扱いの不便さ等もあり、耕作面積が拡大するか心配される。

町長

秋冬栽培に続いて初夏収穫の試験栽培と、本町に合った環境下での栽培方法習得により、収益性の高い品目になり得ることを理解していただきながら進めたい。

い知識を学ばれることが大事。調査をされるところもあるかもしれないが全体的に考えてみたい。

町内事業所の立地条件に緩和策を

松原

本町の事業支援の条例は補助金面で手厚いが、立地条件の不便さも考慮し、例えば過疎地における固定資産税の課税免除や企業立地促進条例等の一層の緩和策が必要では。

町長

工場増設等には支援をしているが、法律的な制限等も町として条件緩和できるところは関係団体と前向きに調整したい。

産業

問 本町の特色ある職場環境づくりを

答 関係団体と前向き検討を深めたい

賃貸共有事務所開設の検討を

松原

高速インターネット、疲れを癒すラドン温泉、緑豊か、と絶好の立地条件が揃っており、特色を生かしたサテライトオフィス等の開設や職場作りは本町のPRや集客、企業誘致にも結び付くのでは。

町長

働き方改革の中、潜在的可能性はあると考えるが一過性の取組みでなくニーズの把握が大事。

町内宿泊施設の人流創出の取組

みには補助金加算するとしており、商工会等連携で支援、アドバイスを行いたい。

在宅での物品販売の相談支援検討を

松原

手芸品や観賞用鉢物、メダカ飼育等を楽しまれる方から、趣味の延長で販売したいが方法がわからないと聞いた。相談、手助けの仕組みがあれば収入になるが調査してみては。

町長

商工会等にご相談いただき正し

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果	
		森貴美子	小椋泰志	河村明浩	吉村美穂子	松原成利	松原茂隆	能見貞明	石田恭二	山口博	藤井克孝	遠藤勝太郎		吉田道明
(4月臨時会)														
町長提出議案名														
39	専決処分の承認について（令和3年度三朝町一般会計補正予算（第10号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
40	専決処分の承認について（三朝町税条例等の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
41	専決処分の承認について（三朝町国民健康保険税条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
42	令和4年度三朝町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(6月定例会)														
町長提出議案名														
43	令和4年度三朝町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	令和4年度三朝町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	損害賠償に係る和解及び損害賠償額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案名														
議3	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議4	銀行業務におけるユニバーサルサービスと利用者の利便性の維持に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議5	国の「水田活用直接支払交付金」の見直しの白紙撤回を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議6	国民の祝日「海の日」を7月20日への固定化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。

※吉田道明議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 6月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
陳情書の電子的提出について（陳情）	足羽 佑太	採択	各種手続きにデジタル化が進んでおり、利便性の向上への改善は検討すべき課題である。
銀行業務におけるユニバーサルサービスと利用者の利便性の維持に係る意見書の提出について（陳情）	足羽 佑太	採択 意見書提出	国民生活への影響・利便性の低下は無視できない。
女性トイレの維持及びその安心安全の確保についての陳情	女性スペースを守る会 -LGBT法案における「性自認」に対し慎重な議論を求める会-	趣旨採択	女性の立場のみならず、広い範囲での性的特性に配慮しながら慎重に検討を重ねていく必要がある。
国の「水田活用直接支払交付金」の見直しの白紙撤回を求める陳情	全日本農民組合 鳥取県連合会	採択 意見書提出	荒廃農地の増加、農家の収入減少、さらには農業全般の衰退へと繋がる問題である。
国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	海事振興連盟	採択 意見書提出	海と国民の生活は切り離すことができない特別なものであり、固定化は極めて重要である。
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 三朝町職員労働組合	採択 意見書提出	新たな行政需要への対応を含め、さらなる地方財政の充実・強化が必要である。
沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	辺野古を止める！ 全国基地引き取り緊急連絡会	趣旨採択	沖縄に限らず、米軍基地と安全保障の問題は、国として解決に向けて慎重に検討されるべき課題でもある。
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情	鳥取県高等学校 教職員組合中部支部 鳥取県教職員組合 中部支部	不採択	様々な支援制度により対応が図られている。中学校の部活動改革も検討が進められ、改善の状況を見守ることも必要。

私の大好きな三朝町でできること

私は三朝中学校の生徒副会長として、「3つの声のあふれる学校」を目指し活動しています。3つの声とは、「あいさつ」「授業中の発言や話し合い」「他学年との関わり」です。そのために私たち生徒会執行部は、あいさつ運動、授業中の話し合いの活性化、学年を超えての縦割り班での活動に取り組んでいます。

これらの活動の中でも、特に私たちは、「あいさつ」を大切にしています。あいさつは、人と人がつながるコミュニケーションとして大切だからです。そして、あいさつには不思議な力があります。私は、毎日の登下校の際、地域の方に「おはよう」「おか

えり」などと声をかけてもらっています。そのおかげで毎日気持ちよく学校に行くことができます。

三朝中学校の中であいさつを活発にしながら、地域の人にあいさつをできる人を増やしていきたいと考えています。私も、自分から進んであいさつをし、三朝町の人たちとの関わりをこれからも大切にしていきたいと思います。



三朝中学校3年
野見 莉央奈

議会・委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは議会事務局（電話43-3511）にお問い合わせください。

9月定例会の日程予定（案）

会期 9月5日～9月15日
（11日間）

※日程は変更になる場合があります。
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

- ・町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <http://www.town.misasa.tottori.jp>

- ・町議会のしくみや議会日程、議員紹介など、さまざまな情報を掲載しています。
- ・議会だよりのバックナンバーも閲覧することができます。

発行責任者 吉田 道明
議長 吉田 道明
編集 吉田 道明
議会広報常任委員会
委員長 小椋 泰志
副委員長 森 貴美子
委員 松原 茂隆
委員 吉村美穂子
委員 河村 明浩

春からの農業が一段落し、心身のリフレッシュのため小旅行へ出かけた。そこにしかない文化、歴史、風土食の魅力を楽しみながら2泊3日の旅を終えた。
あっといふ間と言つよりも、長く感じたというのが本当のところだ。日常生活は、あれもしいと、これもしないといふ一日があつたといふ間に過ぎていくのに、非日常の時間を過ごしても心のどこかで落ち着かない。帰路につき家が近づいてくると、ホッとする。やはり、住み慣れたこの場所が、最高のパワースポットであり心身のリフレッシュになることを実感した。
置かれた場所で、与えられた役割を、感謝で果たすこと、いま、今を大切にしていねいに生きることは、人生という長旅を一番楽しめる方法なのかもしれない。
（河村 明浩 記）

